

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告(第146回)



実施日時：2025年1月29日(水) 10:40～15:00

参加者：豊田先生・劔持先生・蛭田先生・藤田先生

+クラブ員(11)、園芸療法課程修了生ほか = 20名

内容：10:40～ 花壇管理やメンテなど各班の作業 <園芸療法ガーデン>

12:20～ 懇談会 <"木蓮">



<2班>
風が強く寒い1日でした。それでも、地上部分は枯れていても株元には新芽を見つけることができます。春が近いですね。

○**活動内容**
枯れたダンク、ワイルドオーツ、ユーパトリウムを株元から刈り込む。

◆**お知らせ**
・クレマチス(春咲き種*アーマンディー)が新しい芽を伸ばしていました。一時、すっかり消えていましたので驚きました。
・ニホンアカガエルの卵、一塊を発見しました。[ヤマア

カガエル]と書いてしまいましたが、先生からの助言で調べてみたら、やっぱりニホンアカガエルの卵でした。絶滅危惧種です。先生「産卵は1/27(月)の夜～確信～」と教えて下さいました。厳冬の1月末ごろから一時的に目覚めて産卵。成体の背中にある2本の線がほぼ平行。学校では昨年より早い発見でした。

○**2月の予定**
カラスノエンドウ類が芽を出してきています。春を迎える準備で除草していきます。(Fさん)



音の花壇 2班

概略図
(対象エリア)



<1班>
冷たい風が吹く中みなさんお疲れ様でした。園芸療法課程修了生2名に作業の応援をしていただき、ありがとうございました。

○**今月の作業**
◆**色の花壇**
・花から摘み、追肥(マグアンプk)、殺ナメクジ剤散布。
・皇帝タリヤは開花後そのままにして種採りを試みましたが、種が出来ていなかったため豊田先生に短く切って頂きました。レナグサの移植。
・ユリオプスデージーの枯れ枝

剪定。
・かなり乾燥していたので水やりもしかりしました。12月に補植したストック、キンセンカ(Uさん提供)は、嬉しいことにしっかり根付いて大きくなっていました。

◆**触れる花壇**
・宿根草の枯れた葉や花枝の刈り取り、除草など。
○**今後の予定**
・春向けの花苗の選定。
・シェードガーデンで育ったワスレナグサの移植。(Aさん、U)

<4班;創作・メンテ>

寒さと強風のなか、お疲れさまでした。
○**作業内容**
先月に引き続き、劔持先生とともに正面看板の更新作業をしました。

○**2月の予定**
カバー板を製作のうえ、看板の取付作業をおこなう予定です。(Sさん)

まず文字板の裏面及び側面にキシラデコールの塗装を行いました。その後、枕木と文字板をL型金物等によって緊結しました。



味覚と香りの花壇 3班

<3班>
冬のこの時期、ハーブガーデンはひっそりしていますが、寒さ除けを巻いたレモングラスはまるでオブジェのように、普段の班員の皆さんの手入れの良さが感じ取れます。Mさんよりメモを預かりましたので、代わって報告します。

○**今後の予定**
・春向けの花苗の選定。
・シェードガーデンで育ったワスレナグサの移植。(Aさん、U)

今月の活動は、豊田先生の指導で修了生はブルーベリーの剪定に挑戦し、そのほか、道路側のイヌマキの生け垣前の雑草やツルを取る作業でした。ハーブティーやブルーベリーなど活動に参加する皆さんは、今年も楽しみにしていると思います。3班の皆さん、よろしくお願いいたします。(U(1班))



色の花壇 1班



今後の予定	<2025>	2/26	3/26	4/23	5/26	6/25
		7/23	9/24	10/22	11/26	12/17*
	<2026>	1/28	2/25	3/25		
	原則	毎月 第4水曜日				
		ただし、<2025>8月:休み,12月:第3水曜日*				

1 週遅れの変更日、青空の下冬日の長い影を伴いたくさんの皆さんが集まり、今年初めての顔合わせです。クレマチスの再生やニホンアカガエルの産卵などの発見は作業前の園内観察の大きな楽しみです。1 週間も延び参加の皆さんお疲れ屋は新年にちなみ、美味しい

現在、クラブ員の募集は停止しています。

世話人:植田(1/31記)